

数学演習 IA—10 回目：線形独立、内積外積

1 \mathbb{R}^3 のベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}, \mathbf{d}$ に対して、次の公式を示せ。

$$(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{d}) = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{c})(\mathbf{b} \cdot \mathbf{d}) - (\mathbf{a} \cdot \mathbf{d})(\mathbf{b} \cdot \mathbf{c})$$

2 ベクトル空間 \mathbb{R}^n のいくつかの元 $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_k$ を考える。次の補題のうち、(1)(4)(5) を示せ。

- (1) k 本のベクトル $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_k$ が線形独立であれば、そのうちの 1 本を減らした $(k-1)$ 本のベクトル $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_{k-1}$ も線形独立である。
- (2) 線形独立なベクトルの集まりが与えられた時、そのどんな部分集合も線形独立である。
- (3) 何本かのベクトルの集まりが与えられた時、そのある部分集合が線形従属であれば、もとの集合も線形従属である。
- (4) 何本かのベクトルの集まりが与えられた時、そのうちのある 2 本のベクトルが同じベクトルであれば、線形従属である。
- (5) 何本かのベクトルの集まりが与えられた時、ある 1 本が零ベクトルであれば、線形従属である。

3 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 & 0 & 0 & 3 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 2 & 5 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ の行ベクトルを $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4$ とし、列ベクトルを $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3, \mathbf{b}_4, \mathbf{b}_5, \mathbf{b}_6, \mathbf{b}_7$ とする。次の問いに答えよ。

- (1) 行列 A は簡約か？
- (2) 行列 A の階数 $r = \text{rank} A$ を求めよ。
- (3) $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$ は線形独立か？
- (4) 行列 A の 3 本の線形独立な行ベクトルの組は (3) に挙げたもの以外にあるか？
- (5) $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_3, \mathbf{b}_5$ は線形独立か？
- (6) $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_4, \mathbf{b}_7$ は線形独立か？
- (7) $\mathbf{b}_3, \mathbf{b}_4, \mathbf{b}_6$ は線形独立か？
- (8) $\mathbf{b}_3, \mathbf{b}_6, \mathbf{b}_7$ は線形独立か？
- (9) 行列 A の 3 本の線形独立な列ベクトルの組は何組あるか？

4 実数 k を一つ固定する。ベクトル空間 \mathbb{R}^n の 5 つの元 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5$ を考える。 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4$ が線形独立であり、 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_5$ が線形従属であれば、 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4 + k\mathbf{a}_5$ は線形独立であることを示せ。

問題は以上。

出典または類題または出題の狙い：

- 1 p114 練習問題 4.3(3)。
- 2 p100 に現れた用語の定義を確認する問題。
- 3 「線形独立な行ベクトルの最大数」を理解する問題
- 4 定理 3.18(p93) の証明の 6 行目から 11 行目の議論を翻訳したもの。

ヒントは裏面：

- 2 なお、(2) は (1) を繰り返せばよい。(3) は (2) の対偶である。
- 2 前の番号の小問の性質は用いて良い。例えば (5) を示すときに (3) を使っても良い。もちろん使わなくても良い。
- 2 (4) 設定が分かりづらいかもしれないが、例えば、 $\mathbf{a}_1 = \mathbf{e}_3$, $\mathbf{a}_2 = \mathbf{e}_1$, $\mathbf{a}_3 = \mathbf{e}_2$, $\mathbf{a}_4 = \mathbf{e}_1$ のような状況を想定している。
- 4 やり方はいろいろあるが、例えば、 \mathbf{a}_5 は $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$ の線形結合で表せるか？